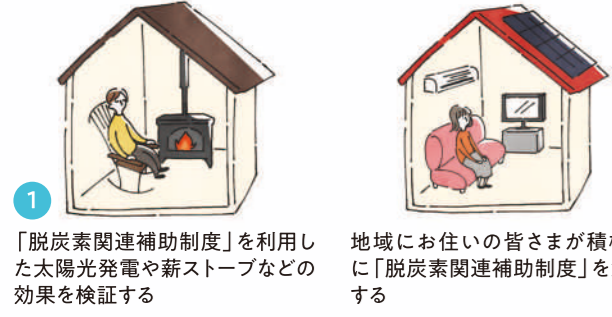


すべてのアクションプランを実現することで、
2050年に二酸化炭素排出量ゼロをめざします。

目標達成 2025年

片品村村内エネルギーの脱炭素化、エネルギーの地産地消



1 「脱炭素関連補助制度」を利用した太陽光発電や薪ストーブなどの効果を検証する
地域にお住いの皆さまが積極的に「脱炭素関連補助制度」を活用する

フィールドの脱炭素化・サステナブル化



2 尾瀬国立公園の登山道を整備する(笠ヶ岳等)
3 トレイルランニング、マウンテンランニングなど、フィールドイベントの脱炭素化を進める(マイボトル・マイバッグを持つ、移動手段などの普及啓発活動)

交通システムの脱炭素化



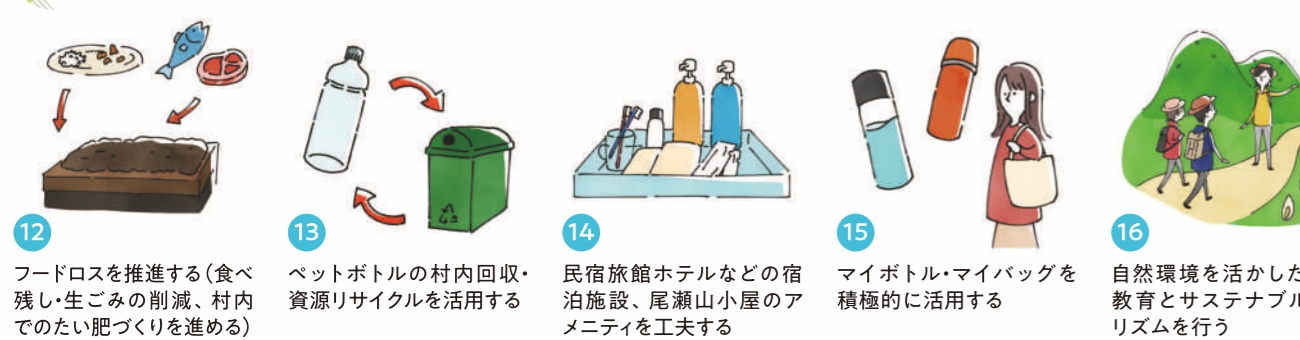
4 尾瀬国立公園内を通年マイカー規制にする
5 尾瀬来訪者、地域にお住いの皆さま自家用車の電気自動車化を進める
6 電気自動車の充電設備を導入する
7 電動自転車、車の乗り合い制度、歩く文化を広げて、脱炭素化を進める

脱炭素に向けた教育実践とコミュニケーションの推進



8 尾瀬の価値と脱炭素に向けた勉強会を開催する
9 村民を対象にした尾瀬や自然を体験するツアーを実施する
10 村民ボランティアによる外来植物駆除活動などを行う
11 「尾瀬の日」「山の日」などに村民参加型脱炭素イベントを行う

食品の地産地消、物資の資源循環、観光の脱炭素化・サステナブルツーリズムの推進



12 フードロス推進(食べ残し・生ごみの削減、村内でのたい肥づくりを進める)
13 ペットボトルの村内回収・資源リサイクルを活用する
14 民宿旅館ホテルなどの宿泊施設、尾瀬山小屋のアメニティを工夫する
15 マイボトル・マイバッグを積極的に活用する
16 自然環境を活かした環境教育とサステナブルツーリズムを行う

尾瀬かたしなゼロカーボンパーク アクションプラン全体のイメージ図



すべてのアクションプランを実現することで、
2050年に二酸化炭素排出量ゼロをめざします。

目標達成 2030年

片品村村内エネルギーの脱炭素化、エネルギーの地産地消



17 公共施設の屋根に太陽光発電など再生可能エネルギーを導入する・民間の水力発電の電力を購入する
18 尾瀬国立公園の尾瀬山ノ鼻地区山荘とビジターセンターの脱炭素化を実現する
19 移住定住促進住宅に太陽光発電や蓄電池を導入する
20 自宅、民宿ホテル旅館、スキー場に断熱、太陽光発電、薪ストーブなどを積極的に導入する

交通システムの脱炭素化



21 公共交通の電気自動車化を進める(電気乗り合いタクシー、電動バスの導入)

食品の地産地消、物資の資源循環、観光の脱炭素化・サステナブルツーリズムの推進



22 民宿旅館ホテルなどの宿泊施設、山小屋のごみ削減を進める
23 環境再生型農業(有機栽培、学校給食、農協との連携)を進める
24 衣料リサイクルセンターを創出し、衣料リサイクルを進める

フィールドの脱炭素化・サステナブル化



25 尾瀬国立公園周辺の標識や案内板を整備する



26 地域にお住いの皆さまの遊び場(自然アクティビティ等)を整備する・林道を整備する(マウンテンバイク・トレイルランニングに活用)

目標達成 2050年

片品村村内エネルギーの脱炭素化、エネルギーの地産地消



27 分散型エネルギー(太陽光発電設備、蓄電池、各家庭で保有する電気自動車など)、村内だけで再生可能エネルギーを送電する電源網を構築する

